

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		中学校各種球技大会開催事業（スポーツライフ推進事業）						予算事業名		中学校各種球技大会開催事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				10	06	01	2002	経常経費								
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文							事業の区分		主要事業					
		4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進（スポ									重点事業					
		①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実							担当課係等		スポーツ振興課					
2各種大会の開催							スポーツ振興係									
事業期間		継続（昭和31年度～令和 3年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
学校及び生徒間の相互交流を図るとともに、スポーツを通じて青少年の健全育成を図る。 また、小山市・下野市・野木町については定住自立圏構想の連携強化の役割を担う。							青少年の健全育成とスポーツの普及発展を目的に、スポーツ協会専門部及び小中学校体育連盟の連携協力が確立した昭和31年から開催された。 種目の別はあるものの、他市でも実施している。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
茨城県・栃木県中学校女子バレーボール大会開催 近隣中学校男子バレーボール結城大会開催 近県中学校ソフトテニス結城大会開催 近県中学校卓球結城大会開催 小山市・結城市友好親善中学生野球大会開催 選手には、活躍し一生の思い出に残る場を提供するとともに、スポーツ協会専門部の方に審判員として協力いただくことで支えるスポーツの醸成を図り、市内中学生には会場準備などでボランティア精神を支えるスポーツとしての考え方を教育する。							市内中学生及び近隣・近県の中学生と保護者達 市内スポーツ協会専門部審判員 【事業をとりまく環境の変化】 部活動の教員・生徒への負担が問題視されており、日曜日の開催を避けるなどして、負担軽減を図らなければならない。 男子バレーボールについては、少子化の影響もあり、市内唯一である結城南中の存続が危ぶまれているので、大会の在り方を検討しなければならない。									
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】								
茨城県・栃木県中学校女子バレーボール大会開催 近隣中学校男子バレーボール結城大会開催 近県中学校ソフトテニス結城大会開催 近県中学校卓球結城大会開催 結城市・小山市友好親善中学生野球大会開催				茨城県・栃木県中学校女子バレーボール大会開催 近隣中学校男子バレーボール結城大会開催 近県中学校ソフトテニス結城大会開催 近県中学校卓球結城大会開催 小山市・結城市友好親善中学生野球大会開催				茨城県・栃木県中学校女子バレーボール大会開催 近隣中学校男子バレーボール結城大会開催 近県中学校ソフトテニス結城大会開催 近県中学校卓球結城大会開催 結城市・小山市友好親善中学生野球大会開催								
■事業費																
				R01年度		R02年度										
財源内訳	国庫支出金			0		0										
	県支出金			0		0										
	地方債			0		0										
	その他			400		400										
	一般財源			242		528										
歳入計（千円）				642		928										
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）									
	07 報償費				228		337									
	10 需用費				289		400									
	13 使用料及び賃借料				78		132									
	18 負担金補助及び交付金				47		59									
歳出計（千円）（A）				642		928										
伸び率（％）						44.54										
備考	総合計画 1 2 3 ページ 予算書 1 8 9 ページ															

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	開催種目数	種目	目標	7.00	7.00	7.00
	卓球男女, ソフトテニス男女, バレー男女, 結城市・小山市友好親善野球大会		実績	7.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	延べ参加学校数	校	目標	160.00	160.00	160.00
			実績	156.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	青少年の健全育成及び生涯スポーツの振興を図るうえで重要である。また、部活動の成果を発揮する大会であり、学校教育の一環を担っているが、部活動の負担軽減のため、大会のあり方が検討できる。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	学校教育の一環を担っており、行政で実施する意義もある一方、各種目の中体連専門部や協会が主体となることも考えられる。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	実施主体と同様、手段についても検討すべきである。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	参加校に参加費を負担させることによりコストの効率化が図られている。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	種目が限られているものの、市内中学校はもとより、茨城県・栃木県から参加を募っている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	参加者相互の交流や健全な心身の発達に寄与しており、一定の成果はある。また、市内の中学校が上位進出する場合は、大会全体の追い風となり、選手・保護者・指導者の良い思い出作りとなっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	数々の大会運営の実績があるスポーツ協会専門部と中学校体育連盟委員の協力により大会の進行、運営がスムーズに行えている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
大会を通し、参加者の相互の交流や健全な心身の発達に寄与するとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として事業の意図は達成されている。しかし、開催することに対して、公平性や妥当性に問題があり、単なる継続事業とするのではなく、ゼロベースでの見直しを要する。 また、継続する場合でも、日曜日開催や、終了時刻の遅延など、昨今問題となっている部活動の教員・生徒への負担を軽減するため、運営方法を検討する必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
中学校体育連盟や、関連団体と十分な協議を行い、本事業をどのように位置づけ、どのようなかたちとすべきかを検討する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☒ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 平成30年8月に示された「結城市運動部活動の運営方針」を踏まえ、全体的な検討が必要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	